

今年、東京は同一都市として初めて2回目の夏季パラリンピック競技大会を開催する都市となりました。パラリンピックをはじめとした障害者スポーツは、スポーツとしての純粋な魅力が高まりつつある一方で、競技性に限らず「生涯スポーツ」としての側面もあります。

障害者スポーツの国際大会はパラリンピックの他にも、聴覚障害者を対象とした「デフリンピック」、知的障害者を対象とした「スペシャルオリンピックス」、先端技術を応用した電動車いす等の性能を競う「サイバスロン」等、様々な大会がありますが、その認知度は依然として低いままとなっています。そこで、東京2020パラリンピック競技大会のレガシーを踏まえつつ、様々な障害者スポーツ大会の紹介を通して、「みんな」がスポーツに参加できる社会について考えてみたいと思います。



## デフリンピック

デフリンピックは、聴覚に障害のあるろう者の国際スポーツ大会として、夏季大会は1924年から、冬季大会は1949年から開催されています。障害当事者であるろう者自身が運営する、ろう者のためのスポーツ大会であり、また参加者が国際手話によるコミュニケーションで友好を深められるところに大きな特徴があります。

## スペシャルオリンピックス

スペシャルオリンピックスは、知的障害のある人たちを対象とした国際的なスポーツ組織です。その特徴は、複数形の名称に表れているように、国際大会に限らず、日常的なスポーツトレーニングを含めて様々な活動が年間を通じて行われている点です。知的障害のない人たちとも、共に成長し、共に楽しみ、その経験を分かち合うことが重要と考えられています。

## サイバスロン

サイバスロンは、障害者とロボット工学等の先端技術の開発者が協力して日常生活に必要な動作に挑む、国際競技大会です。2016年に第1回大会がスイスのチューリヒで開催され、大きな注目を集めました。重視しているのは日常生活の課題解決であり、電動車いすで坂や階段があるコースを走行する競技等があります。



一般財団法人全日本ろうあ連盟スポーツ委員会 ©SpecialOlympicsNipponTokyo ©ETH Zürich / Takao Ochi



### YouTube / 公財・東京都人権啓発センター

YouTube(公財)東京都人権啓発センター公式チャンネルにて、オンラインコンテンツ公開予定！  
詳細はホームページにてお知らせします。

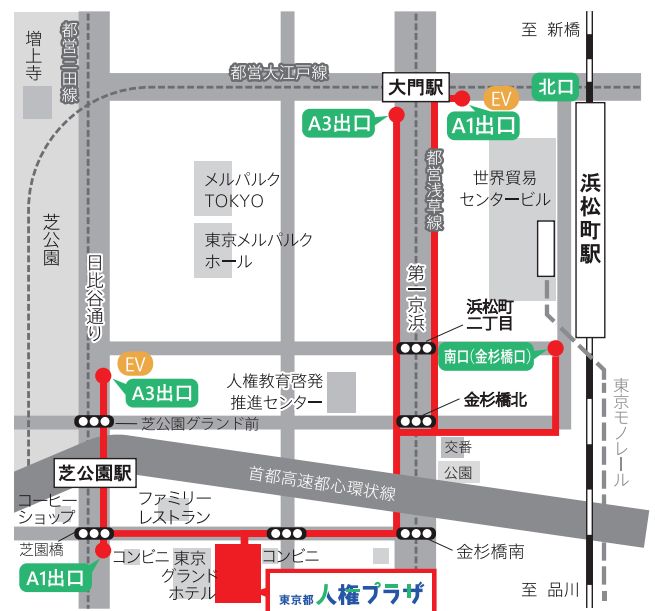
チャンネル登録  
お願いします!!

## アクセス

**都営三田線** 芝公園駅 A1出口から徒歩3分  
(注) 車いす、ベビーカー等ご使用の方は、A3出口エレベータをご利用ください。

**都営浅草線・都営大江戸線** 大門駅 A3出口から徒歩7分  
(注) 車いす、ベビーカー等ご使用の方は、A1出口エレベータをご利用ください。

**JR線・東京モノレール** 浜松町駅 金杉橋口から徒歩8分  
(注) 車いす、ベビーカー等ご使用の方は、改札を出る前に駅員にお声がけください。  
(注) 当館には一般の方用の駐車・駐輪スペースがありません。ご来館の際は公共交通機関をご利用ください。  
身体障害者の方や、公共交通機関の利用が難しい方の専用駐車スペースをご用意していますので、事前にご連絡ください。



## 東京都人権プラザ

〒105-0014 東京都港区芝2-5-6 芝256スクエアビル1・2F  
TEL: 03-6722-0123  
E-MAIL: tenji@tokyo-jinken.or.jp  
URL: https://www.tokyo-hrp.jp/